

ケンさんの



いんたーなしょなる

Volume 25

国際コーナー

南北戦争

アメリカは植民時代から奴隷制でしたが、1780年に始め、州は次々と奴隷制をなくするようにしました。1804年にはアメリカの北部の州が全部奴隷制をなくしましたが、南部の州にはまだ残っていました。1860年に奴隷制に反対していた共和党とその大統領候補エイブラハム・リンカーンが当選しました。奴隷制の拡大を止めるため、共和党はアメリカの準州を全部奴隷制のない自由準州にしようとしていました。そうしたら議会での奴隷州の権力が当然弱くなって、いずれアメリカから奴隷制が自然になくなるだろうと思いました。

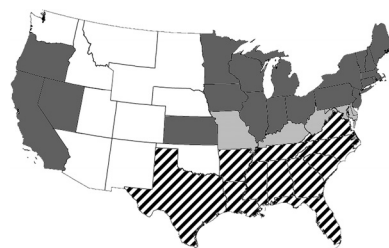
リンカーン大統領自身は奴隷制をなくしようとは宣言しませんでした。南部の奴隷州に不安が広がりました。当時、南部の人口の1/3が奴隷でした。経済的な被害(その奴隷は私物扱いされていました)以上に、奴隷に自由を与えたら反撃を受けないかと、所有者が恐れていました。

当時、南部の経済は主に木綿の輸出にベース

れていました。南部の気候は綿の栽培に適していましたが、その栽培には大きい労働力が必要でした。そのため南部に奴隷制は盛んでした。アメリカの北部やイギリスとフランスの綿工業は南部から輸入された木綿に頼っていました。そして奴隷州の政治家はこう思いました。もしも奴隷制は脱退するとしても、南部は攻撃しないでしょう。なぜなら南部が木綿の輸出を止めたら北部の経済が崩れるでしょう。そして万が一北部が攻撃をしても、木綿の輸出が中断されないよう、ヨーロッパの国は南部を支えるでしょう。

しかし、その考え方は大間違いでした。北部やイギリスはすでに木綿を備蓄していました。さらに、奴隷制をなくしたヨーロッパの国は奴隷州と自分を結び付けたくありませんでした。

結果、1861年に13の奴隷州が脱退して4年間の激しい内戦が起こりました。かつて共に戦っていた友人が敵になって、死亡者数は103万人(アメリカの人口の3%)を上回りました。南部は戦争で負け、奴隷制はなくなりましたが現在まで内戦の傷跡が残っていて、155年後にまだ影響が残っています。



- グレイは北部
- 縞柄は南部
- 白は準州



小中一貫教育情報つながり



● 新年度がスタートしました

保護者、職員、在校生に見守られて、小坂小・中学校の入学式が行われました。

小学1年生27人、中学1年生27人の新入生を迎え、小学校163人・中学校83人、計246人で今年度の小坂小・中学校がスタートしました。



〈中学校入学式〉



〈小学校入学式〉

● 安全な歩き方の練習をしました

鹿角警察署の方や地域の交通安全指導員の方をお招きし、交通安全教室を実施しました。最初に警察署の方から、安全な歩行の仕方や自転車の乗り方についてお話をいただきました。その後、実際に外に出て横断歩道の渡り方や歩道の歩き方を学びました。

● 小中合同大運動会は延期になります

新型コロナウイルス感染症防止対策のため、小坂小中合同大運動会が延期になりました。開催時期は未定となっています。



〈小1・小2交通安全教室〉

お問い合わせ先 小坂小学校 (TEL29-2422) 小坂中学校 (TEL29-3232)